

研修修了生の声

■新世紀工芸館を選んだ目的は？

毎日自由に制作に取り組み、ガラスと向き合う時間を充分に得ることができるため、新世紀工芸館を選びました。

■研修期間はどうでしたか？

定期的に講師の方を招き、講義や講評をしていただく機会もあるため、自分の作品を冷静に見る事もでき、多くの刺激を得て、また制作に励む、そんな充実した2年間を過ごしました。

■今、どんな制作活動（作家活動）をしていますか？

自身の工房を立ち上げ、制作をはじめました。
発表活動は、国内ギャラリーでの展示や海外のアートフェアにて発表しています。



第5期

ガラス工芸コース修了生
藤掛 幸智さん

- 2006年 秋田美術工芸短期大学工芸学科
ガラス工芸専攻 卒業
- 2007年 愛知教育大学 教育学部造形文化コース
ガラス専攻 科目等履修生 修了
- 2009年 瀬戸市新世紀工芸館 ガラス工芸コース 修了
- 2012年 金沢卯辰山工芸工房 研修者修了
- 2015年 瀬戸市新世紀工芸館 勤務
- 現在 自身の工房にて制作



■研修期間はどうでしたか？

得たものは大変多かったです。その中には瀬戸市、新世紀工芸館でなければ得られなかったものもあります。迷いや困難な事があっても周囲の方々やスタッフの皆様のサポートで乗り越える事ができ、作家として作品を発表する様々な機会を与えていただきました。

■今、どんな制作活動（作家活動）をしていますか？

百貨店やギャラリーにて個展または企画展等で作品を発表させていただいております。

■当館での研修を考えている方へ伝えたいことは？

カリキュラムを設けていないところが最大の魅力ではありますが、その分、作家として自主性や自己管理が求められる環境だと思います。自身が学びたい事、やりたい事が決まっているのならば最良の環境ではないでしょうか。新世紀工芸館での研修経験は長い作家人生の中で大きな経験となるとと思います。

第6期

陶芸コース修了生

増原 嘉央理さん

- 1985年 北海道札幌市に生まれる
- 2008年 武蔵野美術大学 造形学部
工芸工業デザイン学科 陶磁コース 卒業
- 2010年 瀬戸市新世紀工芸館 陶芸コース修了

東日本伝統工芸展 朝日新聞社賞 / 武蔵野美術大学
卒業制作 陶磁賞 / そば猪口アート公募展 安曇野市
教育委員会賞 / なかさき陶磁展 インテリア・工芸
部門 最優秀賞 他
日本陶芸展 / 陶美展 / 菊池ピエンナーレ / 朝日陶芸
展 / 長三賞常滑陶芸展 入選 他

- 個展 (銀座 黒田陶苑)
- 個展 (あべのハルカス近鉄本店 アートギャラリー)
- 個展 (札幌三越 三越ギャラリー)
- 日本陶芸美術協会選抜展 (横浜高島屋 美術画廊)
- 現代作家茶碗特集 (日本橋三越本店)

